

(別紙4(2))

事業所名 ふれあいの家 百道

作成日 令和 3 年 8 月 30 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員の確保と育成	入職した職員に対して、「介護サービスマニュアル」「プリセプターシップ」に沿って丁寧に指導を行う体制は整えているが、離職が多い状況である。職員の確保と育成に向けて継続して取り組んでいく。	コロナ収束後は、職員の誕生会等のコミュニケーションの機会を復活させ、ユニット間の交流も含め、オープンな雰囲気の中で職員が定着していくよう取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	ホームが2階、3階に位置していることから、特に人手の少ない夜間帯を想定した訓練を重点的に行い、いざという時に冷静に行動できるように準備していく。	夜間想定訓練を、実際に夜勤をする職員を中心に、職員が利用者役になり2人で行う訓練を繰り返し行うことで不安を無くし、落ち着いて利用者を避難誘導できる体制を強化していく。また、コロナ収束後には、地域住民の方にも参加してもらい訓練を復活し、協力体制を築いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。